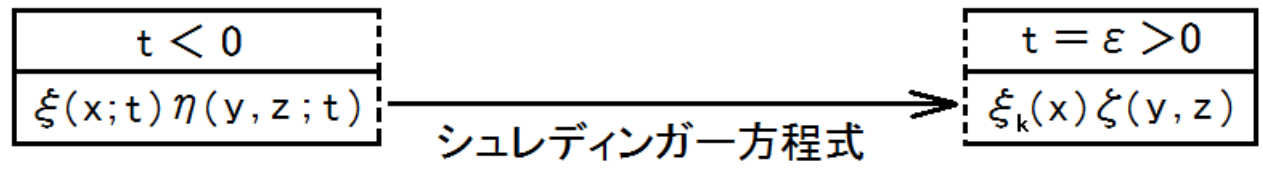
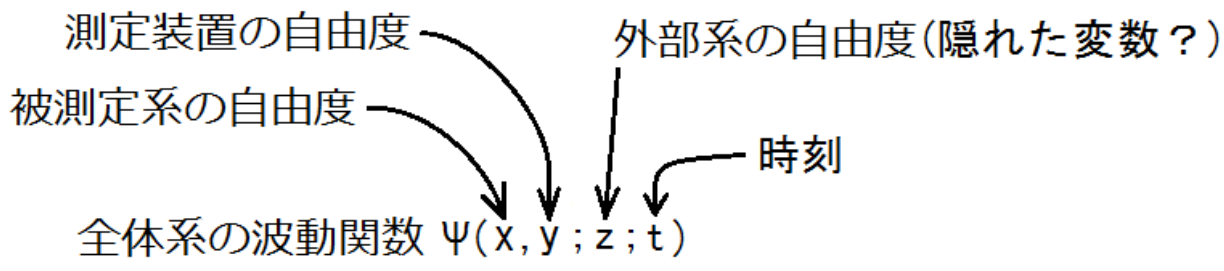


D

被測定系+測定装置は全体ではない  
あるいは  
測定装置の初期状態にバラつきが有る



ポテンシャルエネルギー関数  
 $k$  と  $\xi$  は  $V$  と  $\xi$  と  $\eta$  で決まる .....  $k = F[V, \xi, \eta] \Leftrightarrow \eta \in Y_k[V, \xi]$

$$\langle k | \xi \rangle \equiv \int_{-\infty}^{\infty} dx \overline{\xi_k(x)} \xi(x; 0)$$

$\eta$  にバラつきが有り  
 $\eta \in Y_k[V, \xi]$  である確率が  $|\langle k | \xi \rangle|^2$  のみに比例する  
 $\xi$  の如何に関わらずそうである様に  $V$  と  $\eta$  をコントロールする事が出来るのか

$\eta$  が完全にランダムで  
 $Y_k$  の大きさ(要素の個数)が  $|\langle k | \xi \rangle|^2$  に比例する様に  $V$  を設定する  
 ならば、そう成る。

量子デコヒーレンスの理論の基礎付け